

理事長就任のご挨拶

3月8日に開催されました第201回組合会において、石川縣市町村職員共済組合の理事長に御推挙いただき、その重責を担うこととなりました。

さて、昨年12月に「全世代型社会保障改革の方針」が閣議決定されました。全ての世代の安心の構築には、年金、医療、社会保障全般にわたる制度改革が予想されますので、改正概要に注視してまいります。また、マイナンバーカードが組合員証としても利用できる仕組みがスタートします。当組合では、このような社会の方向性に適切に対応しつつ各事業を運営してまいります。

次に、宿泊事業「おびし荘」については、コロナ禍において厳しい運営を強いられておりますが、感染防止対策に万全を期し、サービス向上に努めてまいりますので、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

共済制度を取り巻く情勢の厳しい折り、微力ではございますが、組合員並びにご家族の皆様方の健康の保持増進や福祉の向上のため、邁進してまいり所存でございます。皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



理事長
粟 貴章

理事長退任のご挨拶

このたび、石川縣市町村職員共済組合の理事長の職を退任いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

平成18年に理事長に御推挙いただきまして、7期14年余り無事職責を果たすことができましたのも、ひとえに皆様のご理解とご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。

顧みますと、平成20年には新たな高齢者医療制度が創設され、医療財政には過重な負担を抱えることとなり、財源率の引き上げに苦慮してまいりました。また、平成27年には、共済年金が厚生年金に一元化されるという大きな制度改革がありました。今後も社会保障制度改革が予想されますが、後任の粟理事長には、共済事業のさらなる発展に向けて活躍していただけるものと確信しております。

末筆ながら、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。



前理事長
持木 一茂